

交通安全対策

令和5年9月1日

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
山梨県 県土整備部

目次

1. 委員会の経緯と今回の論点	2
2. 前回委員会(第25回)の振り返り	6
3. 第2次事故ゼロプランについて	8
4. 山梨県内の観光地における事故対策について	13
5. 経過観察箇所の評価結果	19
6. 今後のスケジュール	21

1. 委員会の経緯と今回の論点

1. 委員会の経緯と今回の論点

1-1 委員会における事故ゼロプランの検討経緯

- 事故ゼロプランは平成22年度にスタートし、平成25年度に事故危険区間の見直しを実施。
- 取組み開始から約10年が経過し道路交通環境や社会情勢が変化したため、**これらを考慮した第2次事故ゼロプラン区間を一昨年度選定した。**

事故ゼロプラン
スタート

開催年度	協議内容	委員会開催時
平成22年度	新たな箇所選定の実施方針の検討	第7回委員会 (H22.9.30)
	パブリックコメントの実施	(H22.10.10～10.31)
	事故危険区間の選定(168区間) (第1次事故ゼロプラン)	第8回委員会 (H22.12.2)
平成23年度	事故危険区間の対策実施状況の報告 事故危険区間の見直し方法及び新規追加箇所(3区間)の確認	第9回委員会 (H23.12.21)
平成24年度	新たな事故危険区間(追加箇所)の選定方法の確認 パブリックコメント実施方法の確認	第10回委員会 (H24.6.29)
	関係機関ヒアリングの実施 ※通学路点検含む	(H24.7.上旬～11.中旬)
	パブリックコメントの実施	(H24.11.5～11.25)
	新たな事故危険区間(追加箇所)の中間報告	第12回委員会 (H24.12.20)
平成25年度	パブリックコメント等を踏まえた新たな事故危険区間(追加箇所)の選定(408区間) A群・B群・C群の結果報告、通学路点検箇所・事故危険箇所	第13回委員会 (H25.6.18)
平成26年度 ～ 平成28年度	事故危険区間の追加箇所の確認 (14回委員会:4区間、15回委員会:7区間、16回委員会:42区間) 事故危険区間の事業進捗状況の報告	第14回委員会 (H26.8.25) 第15回委員会 (H27.9.30) 第16回委員会 (H28.7.28)
平成29年度	H29事故危険区間の追加箇所の確認(5区間) 事故危険区間の事業進捗状況の報告 事故危険区間の対策完了の判断基準(案)の審議	第17回委員会 (H29.7.27)
平成30年度	H30事故危険区間の追加箇所の確認(3区間) 事故危険区間の対策完了の判断基準に基づいた対策完了箇所の検討	第18回委員会 (H30.7.26)
	事故危険区間の事業進捗状況 新規対策検討箇所の事例紹介	第19回委員会 (H31.3.15)
令和元年度	事故危険区間の対策効果の確認 事故危険区間の対策完了判断基準の見直し	第20回委員会 (R1.8.2)
令和2年度	事故ゼロプランの取組方針の見直し 新たな事故危険区間の選定(319区間)(案)	第21回委員会 (R2.8.27) 第22回委員会 (R3.3.24)
令和3年度	第2次事故ゼロプラン区間の選定(377区間)	第23回委員会 (R4.3.24)

事故危険区間
見直し

取組み開始から
約10年経過

第2次事故ゼロ
プラン区間選定

1. 委員会の経緯と今回の論点

1-1 委員会における事故ゼロプランの検討経緯

- 本年度も継続して、第2次事故ゼロプランを推進していく。

第2次事故
ゼロプラン
スタート



開催年度	協議内容	委員会開催時
令和3年度	第2次事故ゼロプラン区間の選定(377区間)	第23回委員会(R4.3.24)
令和4年度	R4事故危険区間の追加箇所の確認 (24回委員会:6区間、25回委員会:1区間) 事故危険区間の対策検討の事例紹介 事故危険区間の効果評価の事例紹介 経過観察箇所の取り扱い方針、評価結果の報告 第2次事故ゼロプランの事業進捗状況の報告	第24回委員会(R4.8.24) 第25回委員会(R5.3.14)

1. 委員会の経緯と今回の論点

1-2 今回の論点

- 今回は大きく2項目の報告事項と2項目の審議事項があり、以下の通り。

2. 前回委員会(第25回)の振り返り

報告1

- ・ 第25回委員会で頂戴した意見への対応方針の報告

3. 第2次事故ゼロプランについて

審議事項1

- ・ 第2次事故ゼロプランの区間追加について

4. 山梨県内の観光地における事故対策について

報告2

- ・ 道間違い挙動についての分析
- ・ 観光ドライバーによる事故の分析

5. 経過観察箇所の評価結果

審議事項2

- ・ 対策後4年経過した箇所の評価を実施 第2次事故ゼロプランへの追加箇所は無し

2. 前回委員会(第25回)の振り返り

2. 前回委員会(第25回)の振り返り

2-1 前回委員会の開催概要

第25回委員会

<開催日時>

令和5年3月14日(火) 10時～

<場所>

山梨県立図書館(多目的ホール)

<主な審議事項(交通安全対策)>

- 経過観察箇所の評価結果について



第25回委員会の実施状況

■ 主な意見

- ①【ご意見】携帯等の GPS データを活用した歩行者動線についての分析により、歩行者と自動車が分離できていないなどの潜在的な課題が見えるというのは非常に興味深く、今後も検討を続けて頂きたい。

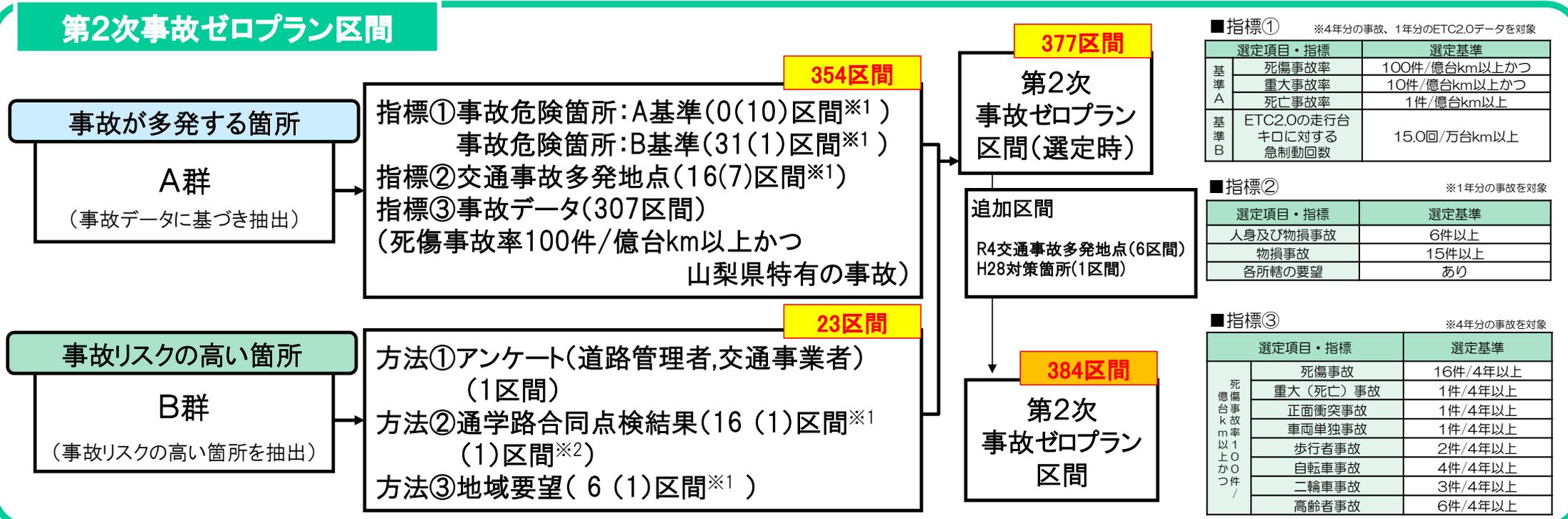
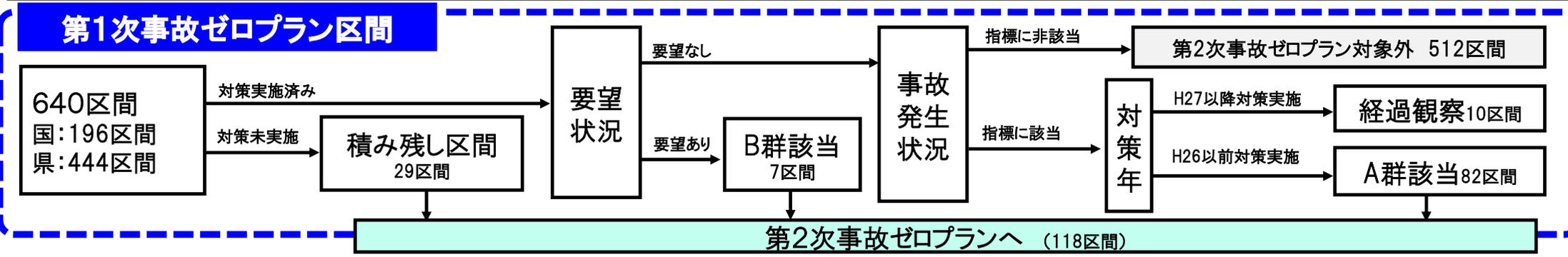
【回答】承知した。

3. 第2次事故ゼロプランについて

3. 第2次事故ゼロプランについて

3-1 第2次事故ゼロプランの概要

- 第23回委員会において、第2次事故ゼロプラン区間として377区間の選定を承認頂いた。
- 第24回委員会において「令和4年度交通事故多発地点」である6箇所を第2次事故ゼロプランに追加することを承認頂いた。
- 第25回委員会において、H28に対策を実施し経過観察となっていた区間から、選定指標に該当した1箇所を第2次事故ゼロプランに追加することを承認頂いた。



■指標① ※4年分の事故、1年分のETC2.0データを対象

選定項目・指標	選定基準
死傷事故率	100件/億台km以上かつ
重大事故率	10件/億台km以上かつ
死亡事故率	1件/億台km以上
ETC2.0の走行台キロに対する急制動回数	15.0回/万台km以上

■指標② ※1年分の事故を対象

選定項目・指標	選定基準
人身及び物損事故	6件以上
物損事故	15件以上
各所轄の要望	あり

■指標③ ※4年分の事故を対象

選定項目・指標	選定基準
死傷事故	16件/4年以上
重大(死亡)事故	1件/4年以上
正面衝突事故	1件/4年以上
車両単独事故	1件/4年以上
歩行者事故	2件/4年以上
自転車事故	4件/4年以上
二輪車事故	3件/4年以上
高齢者事故	6件/4年以上

※1) 括弧内の数字は、A群指標③内の重複区間数 ※2) 括弧内の数字は、A群指標①内の重複区間数

3. 第2次事故ゼロプランについて

3-2 第2次事故ゼロプランの対策優先箇所

- 第2次事故ゼロプランは、選定区間のうち「必要性」・「緊急性」が高い区間から対策の推進を図る。
⇒「必要性」の観点から、**優先対策箇所（117区間）、事故危険箇所 基準B区間（31区間※1）、未然防止箇所（16区間※1※2）**を対策優先箇所に選定。
- ⇒「緊急性」については、重大事故発生箇所や道路管理者等の要望に対して、**緊急性のある対策が必要と判断した場合、優先して対策を実施。**
- 第2次事故ゼロプランでは、**優先対策箇所と未然防止箇所について、並行して対策実施**を図っていく。

※1) 優先基準①選定区間を除く
※2) 事故危険箇所 基準B選定区間を除く

■事故ゼロプランの推進イメージ

第2次事故ゼロプラン区間のうち「必要性」・「緊急性」が高い区間から対策の推進を図る。

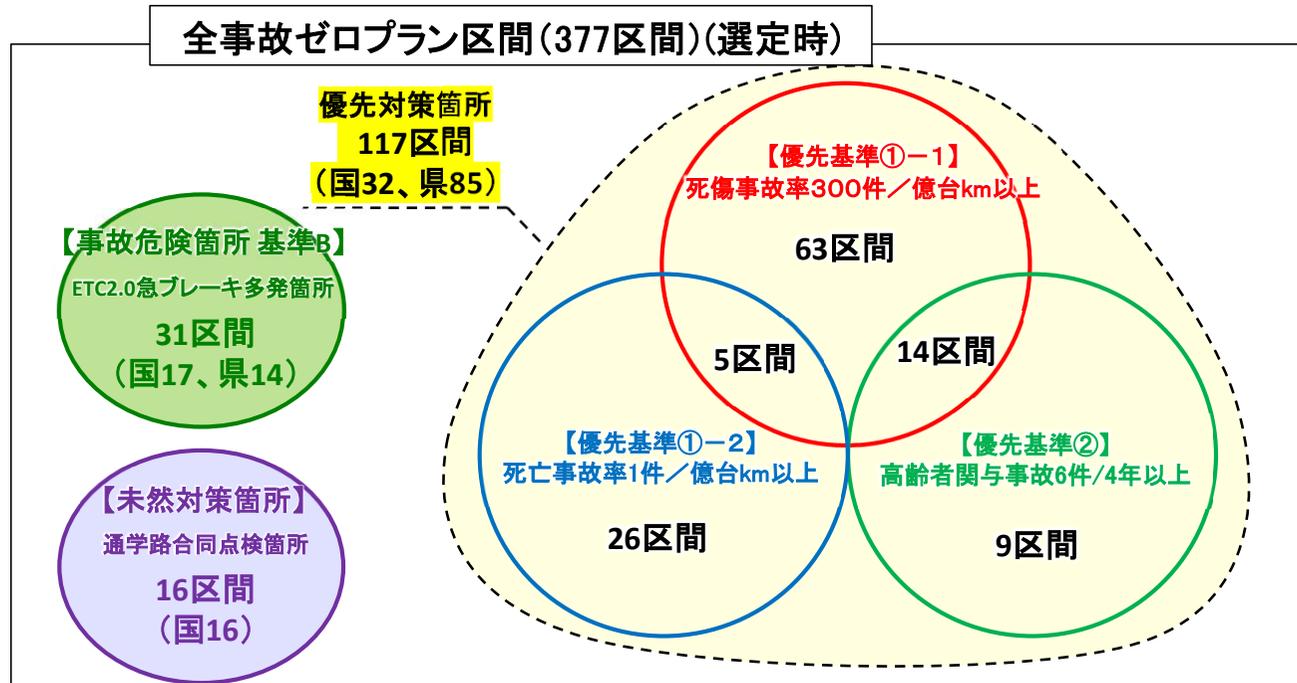
「必要性」の高い区間（117区間+31区間+16区間）

選定区間のうち、優先基準①、②に該当する区間（優先対策箇所）、事故危険箇所 基準B※1、通学路合同点検箇所※1※2に該当する区間（未然防止箇所）を「必要性」の高い区間とする。

※1) 優先基準①選定区間を除く
※2) 事故危険箇所 基準B選定区間を除く

「緊急性」の高い区間（随時追加）

第2次事故ゼロプラン区間のうち、重大事故発生箇所や道路管理者等の要望により、緊急性のある対策が必要と判断された区間を「緊急性」の高い区間とする。



優先対策箇所の基準(優先基準)

- ①-1 死傷事故率300件/億台km以上
- ①-2 死亡事故率1件/億台km以上
- ② 高齢者関与事故6件/4年以上

事故危険箇所 基準B

急制動回数 15.0回/万台km以上

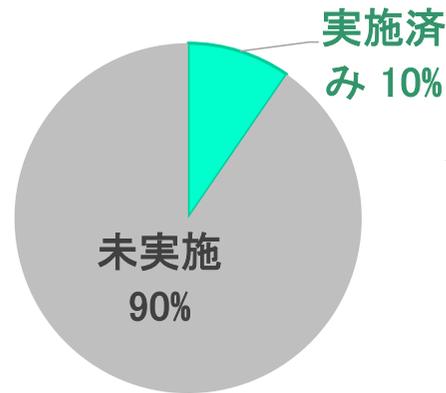
未然対策箇所の基準

通学路点検の合同現地調査結果による

3. 第2次事故ゼロプランについて

3-3 第2次事故ゼロプランの対策実施状況について

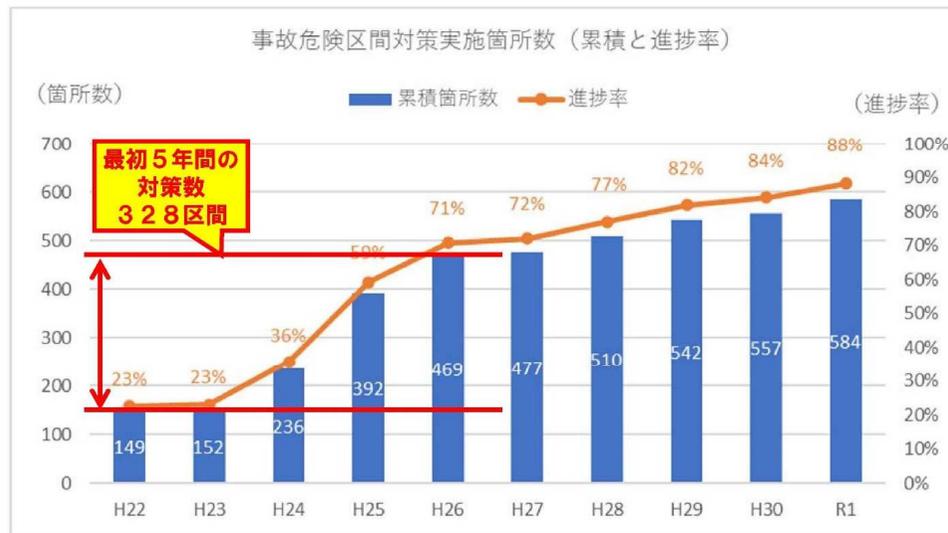
- 第25回委員会時点で第2次事故ゼロプラン区間は384箇所が選定されており、そのうち令和4年度までに37箇所(約10%)で対策が実施済み。
- 第2次事故ゼロプランにおいては概ね5年間での対策完了を目指す。



第2次事故ゼロプラン
384箇所(第25回委員会時点)のうち
37箇所で対策実施済み

第23回委員会資料p.16より抜粋

■第1次事故ゼロプラン区間の対策実施ペース



<出典> 交通事故分析センター (ITARDA) データ (H21-R1)

**第1次事故ゼロプラン選定から
最初5年間 (H23-H27) の対策数は328区間**

↓

**第2次事故ゼロプラン (377区間) においても、
概ね5年間での対策完了を目指す**

3. 第2次事故ゼロプランについて

3-4 第2次事故ゼロプランの区間追加について

- 第22回委員会にて、事故ゼロプラン箇所との重複がない場合は事故多発地点を事故ゼロプランとして追加することが承認された。
- 本年度は、「令和5年度交通事故多発地点」である下記の3箇所（重複除く）を第2次事故ゼロプランとして追加する。

■ 交通事故多発地点（幹線道路）

第2次事故ゼロプラン区間への追加候補箇所 追加の対象外

選定年度	番号	市町村名	管理警察署	道路管理者	路線名	対象区間	交差点・単路	第2次事故ゼロ区間の指定
R5	1	甲府市	甲府署	山梨県	国道411号	砂田橋南交差点	交差点	
	2	南アルプス市	南アルプス署	山梨県	県道20号	信玄橋西詰交差点	交差点	選定済
	3	甲斐市	甲斐署	山梨県	県道25号	中下条交差点北方約70m丁字路交差点	交差点	
	4	甲州市	日下部署	国交省	国道20号	柏尾交差点	交差点	

交通事故多発地点 選定方法

下記のいずれかに該当する地点（概ね1km圏内）を交通事故多発地点として選定

- ①直近1年間で、人身及び物損が6件以上発生している区間
- ②物損が15件以上発生している区間
- ③各所轄の要望箇所



交通事故多発地点を事故危険区間に選定することで、

- ・直近1年間のデータを用いることで、危険な区間を早急に発見・対応することが可能
- ・物損事故発生区間においても対策を実施することにより、事故につながる危険性を軽減

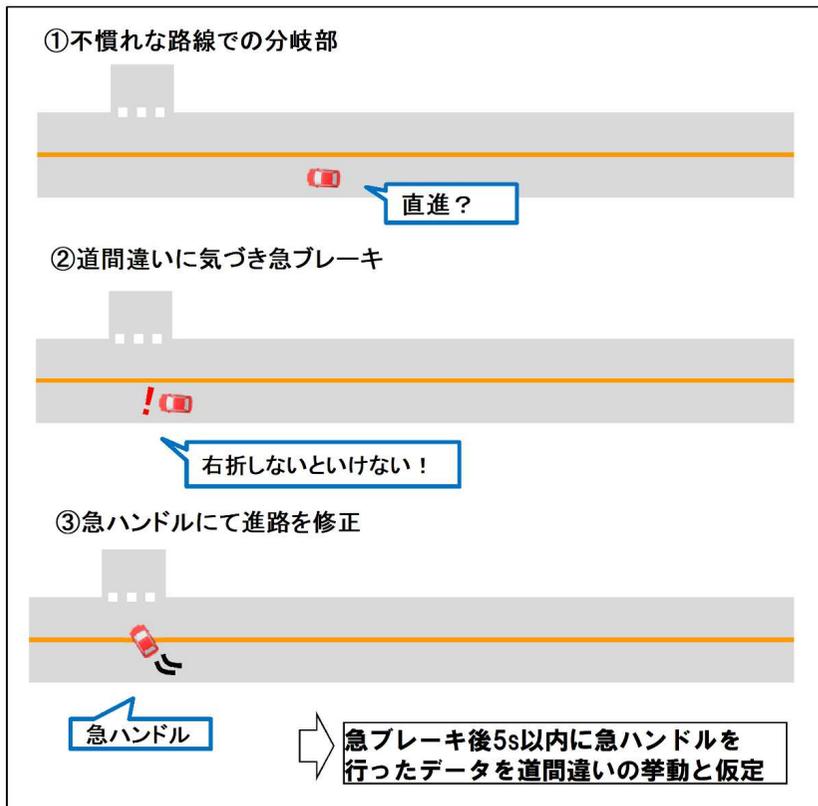
4. 山梨県内の観光地における事故対策について

4. 山梨県内の観光地における事故対策について

4-1 道間違いの挙動についての分析

- 前回委員会では、山梨県内の観光地における事故として、「道に不慣れな観光客による事故」の観点から、観光客がルートを勘違いして「急な進路変更」をする場合に、ETC2.0の急挙動データが発生することを想定して試験的な分析の実施結果を報告した。
- 道間違いによる急な進路変更の挙動を「急ブレーキ発生直後の急ハンドル」と仮定し、モデルケースとして観光地である「富士吉田市周辺地域」を対象に分析したところ、昭和大学入口交差点で左折時に該当する挙動が多発していることを確認した。
- 昭和大学入口交差点は、富士河口湖町方面から近年観光客が増加している新倉山浅間公園への主要アクセスルートの一つと考えられる。

■不慣れな路線での急な進路変更の挙動の想定



第25回委員会資料p.17より抜粋

■昭和大学入口交差点の結果



4. 山梨県内の観光地における事故対策について

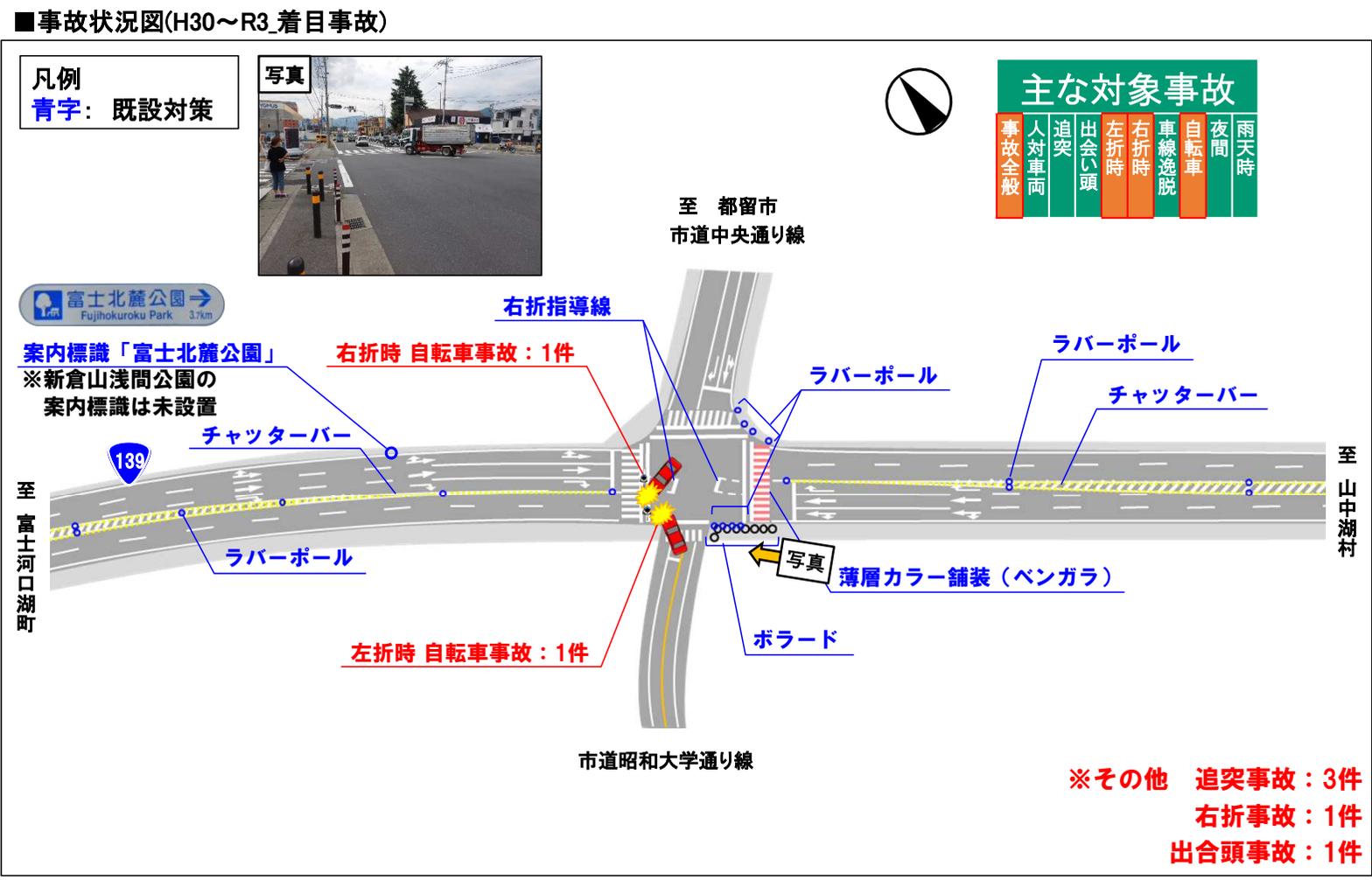
4-2 昭和大學入口交差点における事故発生状況・対策検討

【国道139号 富士吉田市新西原（昭和大學入口交差点）】

- 事故データ（歩行者関与事故）に基づき、第2次事故ゼロプラン区間に選定。（横断歩道にて発生）
- 本交差点は、交差道路から急いで流入する車両が多く、車両の右左折時の速度が高い。（H30～R3：7件中2件が横断歩道付近事故）
- 下り線側の交差点流入部手前において、新倉山浅間公園の案内標識は設置されていない。



【出典：国土地理院地図】



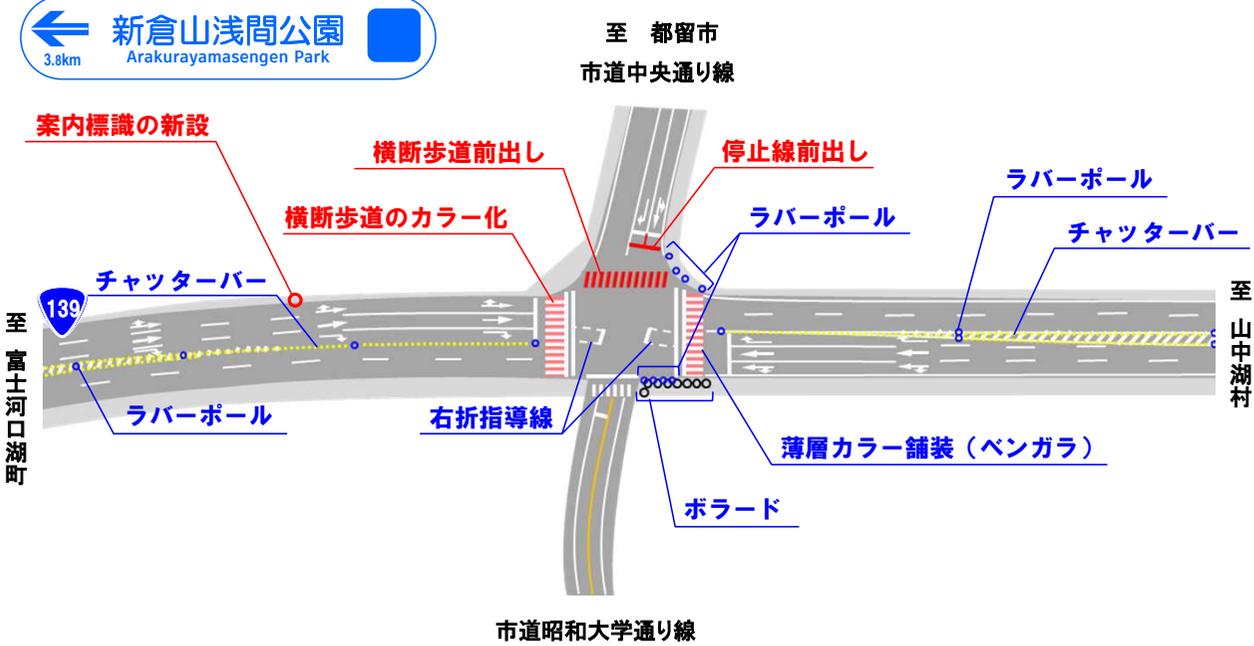
4. 山梨県内の観光地における事故対策について

4-2 昭和大学入口交差点における事故発生状況・対策検討

- 右折車と横断帯を横断中の自転車事故に対して、右折車の走行速度を抑制するために停止線の前出しおよび横断歩道の前出しを実施予定。
- 右左折車と横断帯を横断中の自転車事故に対して、横断歩道のカラー化を実施予定。
- 道間違い挙動に対して、案内標識「新倉山浅間公園」の新設を予定。当該施策による観光地における事故対策としての効果検証を実施予定。

●対策概要

※イメージ



凡例
青字: 既設対策
赤字: 対策案

■主な実施対策メニュー

目的	対策工種	主な対象事故									
		事故全般	人対車両	追突	出会い頭	左折時	右折時	車線逸脱	自転車	夜間	雨天時
速度抑制	<ul style="list-style-type: none"> 薄層舗装(段差舗装) 減速路面標示 			●			●	●			
視認性向上	<ul style="list-style-type: none"> 線形改良 右直間ゼブラ 道路照明 排水性舗装 			●			●	●			●
軌跡の安定化	<ul style="list-style-type: none"> 指導線 導流帯 		●			●	●				
整流化	<ul style="list-style-type: none"> 右左折レーン 交差点コンパクト化 矢羽根整備 		●	●	●	●	●				●
視線誘導・車線逸脱防止	<ul style="list-style-type: none"> 視線誘導標 車線分離標(ラバーポール) リフ式区画線 道路鈺 中央帯 		●					●			
注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> 路面標示 法定外標識 警戒標識 カラー舗装 	●				●	●		●		
対策物劣化対応	<ul style="list-style-type: none"> 塗りなおし 	●									

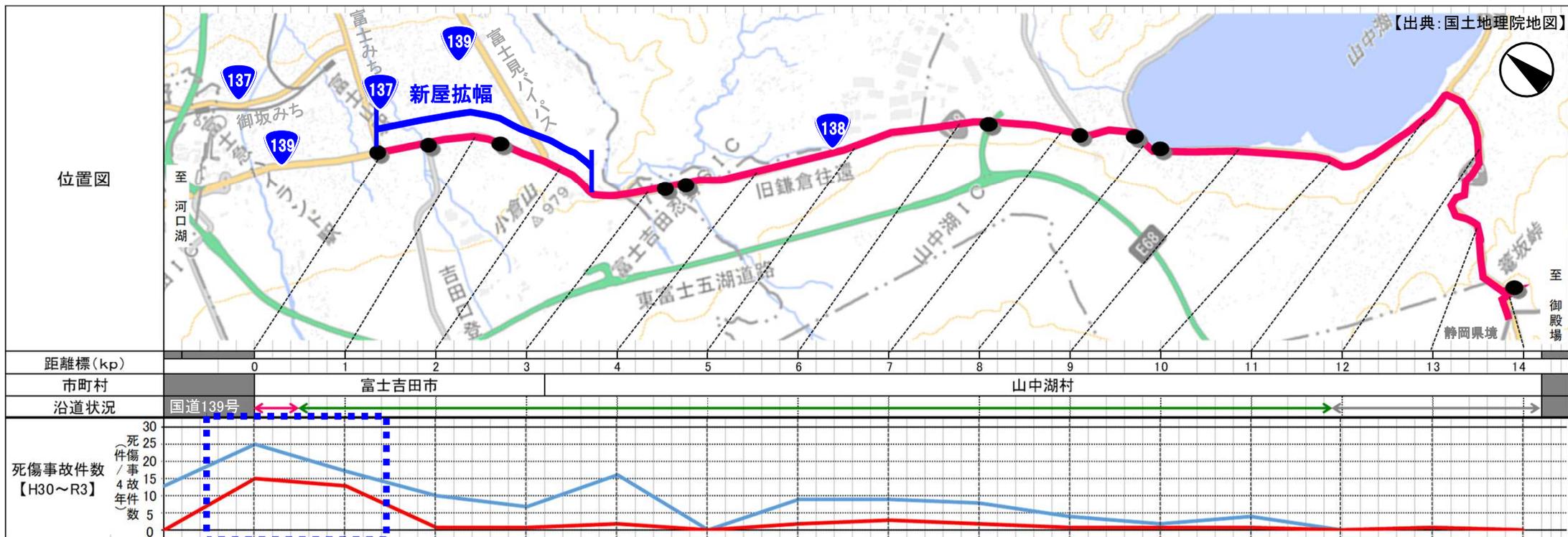
4. 山梨県内の観光地における事故対策について

4-3 観光ドライバーによる事故の分析

- 観光ドライバーによる事故の特徴を明らかにするために、第1当事者の通行目的が観光・娯楽かつ県外在住者の事故を抽出し、集計・分析。
- 国道138号では、北口本宮富士浅間神社がある0~2kp区間で観光ドライバーによる事故の多発が確認された。
- 事故の発生要因については、今後挙動調査等を実施し、分析を進める方針である。

■ 国道138号における死傷事故発生状況

● : 国道138号における第2次事故ゼロプラン(計10箇所)



0~2kp区間で観光ドライバーによる事故が多発

その他事故
14件(33%)

観光ドライバー
による事故
28件(67%)



【出典: 甲府河川国道事務所HP】

- 凡例(沿道状況)
- ↔ DID地区
 - ↔ 市街地
 - ↔ 平地
 - ↔ 山地
- 凡例(死傷事故件数)
- 全事故件数
 - 通行目的が観光・娯楽の県外在住者の事故件数

■ 今後実施を想定する調査・分析

- ・4車線から2車線への車線減少に伴う交通状況の変化(ETC2.0)
- ・高所カメラを用いた挙動調査(ふらつき、反応遅れ等)

5. 経過観察箇所の評価結果

5. 経過観察箇所の評価結果

5-1 対策後4年経過した箇所の評価結果

- 第1次事故ゼロプランのうち経過観察箇所であった下記の箇所について、対策後4年が経過した3箇所について状況の確認を行った。
- 3箇所すべてで指標③の基準値である死傷事故率100件/億台kmを満たさなかったため、第2次事故ゼロプランへの追加は行わない。

■ 経過観察箇所（今後評価）

管理	市区町村	路線番号	対象区間(地先名)	対策完了年度
国管理	上野原市	20	上野原市四方津(上野原西中入口交差点～久保交差点付近)	R1
国管理	甲府市	20	甲府市上阿原(上阿原交差点)	R1
国管理	南アルプス市	52	南アルプス市在家塚(十五所交差点)	H30
国管理	甲府市	52	甲府市丸の内(丸の内郵便局東交差点)	R1

■ 指標③の基準値

※4年分の事故を対象

選定項目・指標		選定基準
死傷事故率 100件/億台km以上	死傷事故	16件/4年以上
	重大(死亡)事故	1件/4年以上
	正面衝突事故	1件/4年以上
	車両単独事故	1件/4年以上
	歩行者事故	2件/4年以上
	自転車事故	4件/4年以上
	二輪車事故	3件/4年以上
	高齢者事故	6件/4年以上

山梨県特有の事故と最新の事故傾向を反映した指標を用いて判定

■ 経過観察箇所（H29対策完了）

死傷事故率が100件/億台km未満

■ 指標に該当

管理	市区町村	路線番号	対象区間(地先名)	対策完了年度	死傷事故率(H30~R3)	事故件数(H30~R3)								第2次事故ゼロプランへの追加
						死傷事故	重大(死亡)事故	正面衝突事故	車両単独事故	歩行者事故	自転車事故	二輪車事故	高齢者事故	
基準値					100.0	16	1	1	1	2	4	3	6	
国管理	南都留郡鳴沢村	139	鳴沢村大田和	H29	25.6	2	0	1	0	0	0	0	0	—
国管理	富士吉田市	139	上宿西交差点～富士吉田市上吉田4293	H29	79.8	6	0	0	0	4	0	1	2	—
国管理	南都留郡西桂町	139	西桂町小沼1607-2～西桂町小沼1430	H29	36.3	2	0	0	0	0	0	0	1	—

6. 今後のスケジュール

6. 今後のスケジュール

第2次事故ゼロプラン開始

今回
(令和5年度)

委員会の経緯と今回の論点
前回委員会(第25回)の振り返り
第2次事故ゼロプランについて
山梨県内の観光地における事故対策について
経過観察箇所の評価結果

第26回委員会の開催(R5.9.1)

次回

第2次事故ゼロプランの進捗状況の報告
第2次事故ゼロプラン区間の対策検討結果の報告
山梨県内の観光地における事故対策について